

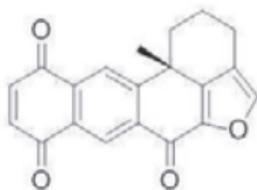
29amA-242

インドネシア産海綿から得られた新規 xestoquinone 二量体の構造

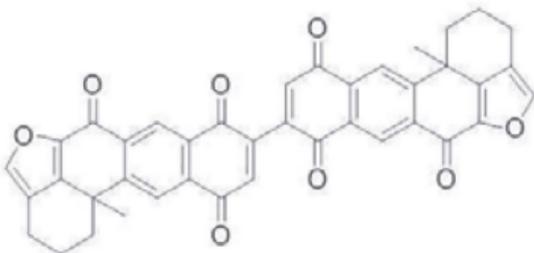
○田之頭 夏希¹, 加藤 光¹, 塚本 佐知子¹(¹熊本大院薬)

【目的】海洋資源からは多くの生物活性物質が得られており、医薬品のリード化合物の探索資源として有用である。当研究室にてインドネシアで採取した海綿の抽出物についてスクリーニングを行い、活性の認められた抽出物から化合物の探索を行ったところ、xestoquinone (**1**)を単離した。この化合物の類縁体には、これまでに抗マラリア活性や細胞毒性等などの活性が知られており、他にも有用な活性が期待できる。今回、新規化合物 **2** を単離したので報告する。

【方法・結果】インドネシアで採取した海綿(湿重量 300 g)の EtOH 抽出物を EtOAc と H₂O で分配後、EtOAc 層をさらに *n*-Hexane と 90% MeOH で分配した。得られた 90% MeOH 層について SiO₂ クロマトグラフィー、続いて HPLC を用いて精製したところ、既知化合物として **1** (29 mg), xestoquinol (13 mg), および新規化合物 **2** (1.1 mg)を単離した。**2** のような二量体が発見されたのは、この化合物が初めての例である。



1



2